

研究論文の書き方講座 5月30日(金) 歴史民俗博物館（銅鐸博物館）



研究奨励事業の研究論文を執筆される先生方を含め園・校から17名の受講がありました。

中堅研に生かそうと5年目以外の先生の参加もありました。積極的な活用ありがとうございました。

毎年、県総合教育センターの先生に講師としてお越しいただいています。今年度は、高田真奈美 主幹にご指導いただきました。

書くにあたっての不安な心持ちから話を始めていただいたので、受講者の皆さんも最初から話に集中されていました。またペアやグループでの話し合いの時間があったり、研究デザインシートに記入する演習形式の時間があったりしたので、先生方も始まる前と比べ、不安な気持ちが解消され、自分の考えを整理することができたようです。



研究の進め方

1. 背景・状況把握……課題をあぶりだし、状況をチェック(アンケート・調査等)
2. 主題設定の理由……設定理由(価値あるものか)
子どもの実態から・過去の研究から・教科等の目標や方向性から etc.
3. 研究目標……研究を何に役立てようとしているのかを明らかに
目的、内容、方法を盛り込む
4. 研究仮説……手立て「こうすれば」→目指す姿「こうなる」目的を筋道立てて書く
検証方法…質問紙法、観察法、テスト、ノート等(事前と事後)
考察…手立ての有効性の判断とその根拠を子どもの姿から述べる
5. 内容・成果と課題…研究の内容
教師の働きかけと子どもの反応、指導の工夫を書く
事前・事後の比較に写真、感想、ワークシート、意識調査 etc.
研究の成果と課題
新しい知見は何か(明らかになったことは?)
今後の研究に求められること・期待したいこと

終了後の感想には以下のような意見をいただきました。

- ・具体的な内容や方法について、深く考えながら自分の成長につながる研究論文が書けたらいいと思います。
- ・目指したい子どもの姿(ゴール)を先に設定して、論理的かつ子どもの姿を大切に、全体のまとまりのある論文が書けるようにしていきたいです。
- ・研究デザインシートで考えることで、何についての研究をしたいのかが少しずつ見えてきて、いろいろな方法があることが分かりました。総合教育センターの研究も参考にしながら、研究を練っていきたいと思います。
- ・この研究をすることは、自分が保育をしていくうえで振り返ったり改善したりするよい機会になると思います。

県総合教育センターの高田真奈美 主幹、本当にありがとうございました。

まなび野洲チャレンジ！ 29

今回はこの問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。
答えは、最下段に載せています。



《 小篠原の分岐点 》

朝鮮人街道の起こりは、織田信長が安土城築城の際に、京都まで道を結んだことに始まります。中山道の「上街道」に対し、「下街道」とか「浜街道」と呼ばれていました。その後、関ヶ原の戦いで勝った徳川家康が上洛の際にこの街道を通ったことから、めでたい道として將軍上洛のときには、使われるしきたりとなりました。家康は大名の参勤交代にさえ使わせなかったこの道を朝鮮通信使に通行させることで優遇ぶりを示そうとしました。

ソウルから江戸までの約 2000 km の行程の中で、「朝鮮人街道」と呼ばれているのは、現在の野洲市小篠原で中山道と分岐する地点から近江八幡、安土を経て現在の〇〇までの約 40 km の街道に限られています。

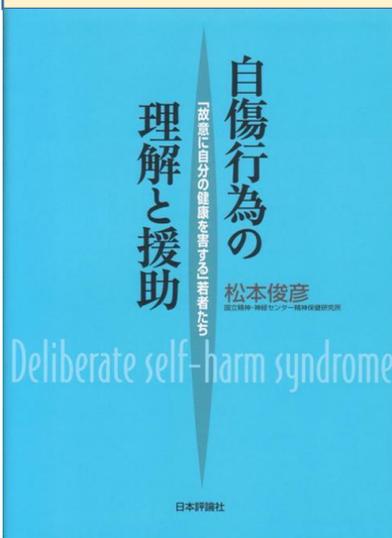


《 現在の分岐の道標 》

さて、〇〇に入るのはどれでしょうか？

- ①東近江市能登川 ②彦根市鳥居本 ③米原市坂田 ④長浜市田村

おすすめの図書



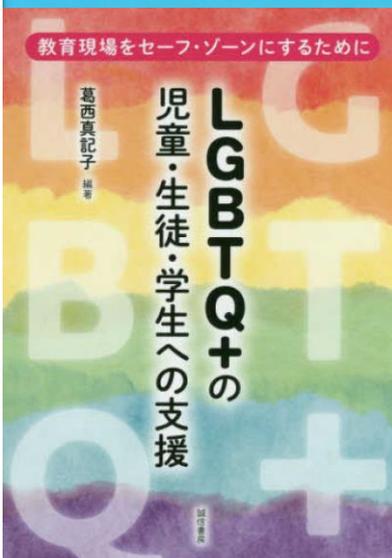
『自傷行為の理解と援助』

～「故意に自分の健康を害する」若者たち～

著者：松本俊彦 国立精神・神経センター精神保健研究所
出版社 日本評論社

著者の豊富な臨床経験や研究に基づく提言は、大きな説得力があり、読者の「自傷」に対する理解を、大きく深めてくれるでしょう。

臨床現場で役立つ実践的アドバイス（禁忌事項やアセスメントの取り方、アプローチ方法など）は、今すぐ役立つ利用できるものばかりです。本文より『自傷行為とは、「身体の痛み」で「心の痛み」にフタをすること。…生き延びるためにつらい感情を意識から切り離しているのだ…』自傷行為の正しい理解と対応について具体的な提案をする実践書です。教職員、SC、SSW の方々に読んでいただきたい一冊です。



『LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援』

～教育現場をセーフ・ゾーンにするために～

編著：葛西 真記子 出版社 誠信書房

LGBTQ+に対する社会の認識も高まりつつあり、学校現場においては LGBTQ+の児童生徒への配慮ある対応が文部科学省から求められています。また、文部科学省は「いじめ防止対策推進法」に基づく「いじめの防止等のための基本的な方針」の改訂を行い、性指向・性自認に関する記載を盛り込んでいます。

本著は、第Ⅰ部で教員の意識変容と啓発から、LGBTQ+と発達障害、その家族支援を丁寧に語り掛けている。

そして、第Ⅱ部では、LGBTQ+への対応と授業という視点で、小学校・中学校・高等学校と章立てして説明しています。

おすすめの絵本



『ぶたのたね』

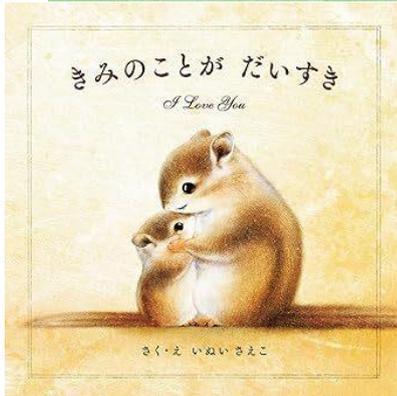
著者：佐々木マキ

出版社 絵本館

シュールなイラストとユーモアたっぷりのストーリーが魅力の絵本です。1989年の発売以来、多くの子どもと大人たちに愛されてきた「ぶたのたねシリーズ」の第1作目。続編となる『また ぶたのたね』『またまた ぶたのたね』『あやしい ぶたのたね』も人気です。

主人公はぶたよりも足が遅いオオカミ。どうしてもぶたをつかまえないオオカミは、きつね博士からぶたの実がなる「ぶたのたね」を分けてもらいます。半信半疑でたねを植えると、やがて木が生えてきて……。

木にぶらさがったぶたの姿に笑ってしまう読者が多く、その後の展開も奇想天外です。ユニークでナンセンスな物語を楽しみたい方に。



『きみのことがだいすき』

著者：いぬいさえこ

出版社 パイインターナショナル

大切な人と読んでほしい、たくさんの愛が伝えられます。

ここは、小さなどうぶつたちが暮らす森。どんなことをお話ししているのかのぞいてみたら……そこは、やさしさであふれていました。

「あなたは、よいこ。なにかを じょうずに できなくても。みんなと同じように できなくても。」「かなしい きもちはね、ふたを しなくていいんだよ。」つらいとき、心細いとき、いつもあなたの心にそっと寄りそってくれる、心温まる絵と言葉がつまったメッセージ絵本です。



『ぜったいにおしちゃダメ?』

著者：ビル・コッター

出版社 サンクチュアリ出版

ビル・コッターさんが手がけた「ぜったいにおしちゃダメ?シリーズ」の第1作目となる絵本です。シリーズ累計100万部を超える人気作で、子どもだけでなく大人からも厚い支持を受けています。子どもと一緒に楽しみながら読める絵本を探している方にぴったりです。

不思議なモンスター・ラリーが教えてくれたルールは1つだけ。"このボタンを押しちゃダメ"ということでした。ダメと言いつつ、あの手この手で"おしちゃおう!"と誘惑してくるラリー。はたして、ボタンを押さずに我慢することができるのでしょうか。

ダメと言われれば言われるほど押したくなる心理をついた面白い作品。好奇心にかられてボタンを押すと、思わぬ展開が待っています。小さい子どもが夢中になる参加型の絵本としておすすめです。



『わんぱくだんのロボットランド』 シリーズは全28作品

作：ゆきのゆめこ 上野与志 絵：末崎茂樹

出版社 ひさかたチャイルド

ものおきごやのなかは「わんぱくだん」のひみつのこうじょう。「それではロビン1ごうのせいさくにかかりませす。」

みんなで作ったロボットにハートをいれたとたん。さあ、「わんぱくだん」とともにロボットランドへ。

「けん」「ひろし」「くみ」3人と一緒に冒険をしている気分になれ、子ども達の心をぎゅっと掴む絵本です。1990年創刊のわんぱくだんは、全部で28作品あります。最新刊は、「わんぱくだんのおおかきもり」です。右の「おばけやしき」も人気です。

